(レンズキャップを取り付ける)

本機をご使用にならないときは、必ずレンズキャップを取り付けてください。



レンズキャップをキャップホルダーでストラップににつなぎ止めることで紛失防止ができます。

電源について

本機は下記のいずれかの電源が利用できます。

●電池

専用リチウムイオン充電池NP-40:1個

最初、電池はフル充電されていません。「急速充電器の使いかた」に従って充電してください。

家庭用電源
 ACアダプター: AD-C40(別売)

急速充電器の使いかた

この充電器で専用リチウムイオン充電池(NP-40)を充電できます。

■急速充電器の各部の名称



■電池の入れかた

電池と充電器の極性を合わせて入れてください。向きが違ってい ると充電できません。



■充電式電池を充電する

- 1. 電池と充電器の極性を合わせ、電池を充電器にセットします。
- **2.** 充電器の【電源プラグ】を起こし、家庭用コンセントに接続します。
 - 充電器の【CHARGEランプ】が赤色に点灯し、充電を開始 します。
 - 約2時間*でフル充電されます。
 ※充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。



- **3.** 充電が完了すると【CHARGEランプ】が緑色に点灯しますので、充電器をコンセントから取りはずし、その後充電器から電池を取りはずします。
- 重要! ●充電開始時に電池温度または充電器の温度が高温状態または低温状態のときは、【CHARGEランプ】がオレンジ色に点灯し、充電待ちの状態になります。充電可能な温度になると、【CHARGEランプ】が赤点灯に変わり、自動的に充電を開始します。充電中においても、一時的に【CHARGEランプ】がオレンジ色に点灯し、充電待ち状態になる場合があります。
 - 使用した直後の熱くなった電池をすぐに充電すると、充分に充電されない場合があります。いったん電池が冷えるのを待ってから充電してください。
 - 電池は使用せずに放置していた場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
 - 本電池はデジタルカメラ用です。その他の機器でもご使用いただけますが、ご使用の機器の取扱説明書で使用できるかどうかを確認してください。
 - 本電池の電池寿命は使用状況によって異なりますが、約
 500回の充放電ができます。
 - 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。
 そのような場合は、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
 - 充電器の接点や、電池の端子が汚れていると正常に充電できないことがあります。時々乾いた布で拭いてください。

充電式電池を入れる

1. 本体底面の【電池カバー】を押しながら、矢印の方向にス ライドさせて開きます。



 2. 図のようにカメラと電池の▲印を合わせるようにして、 電池側面で【ストッパー】を矢印の方向にずらしたまま電 池をセットします。



電池の底の部分を押して【ストッパー】が電池にしっかりかかるのを確認してください。

3. 【電池カバー】を図のように矢印の方向に押しつけながら、スライドして閉めます。



重要! • 電池は、必ず専用リチウムイオン充電池(NP-40)をお 使いください。他の電池は使用できません。

■電池寿命の目安

下記の電池寿命は、温度23℃で使用した場合の電源が切れるま での目安であり、保証時間、または保証枚数ではありません。低 温下で使うと、電池寿命は短くなります。

| 撮影枚数(CIPA) | 約 220枚 | |
|------------|-----------|--|
| (動作時間)*1 | (約1時間50分) | |
| 連続撮影枚数 | 約550枚 | |
| (動作時間)*2 | (約1時間50分) | |
| 連続再生時間 | 約2時間20分 | |
| (静止画)*3 | | |
| 動画連続撮影時間*4 | 約2時間 | |

- •使用電池:NP-40(定格容量:1230mAh)
- ●記録メディア:SDメモリーカード
- 測定条件
 - ※1 撮影枚数(CIPA)
 - CIPA規準に準ずる
 - 温度(23℃)、液晶モニターオン、30秒毎にズームのワイ ド端とテレ端で交互に撮影、フラッシュ発光(2枚に1 回)、10回撮影に1度電源を切/入操作
 - ※2 連続撮影枚数

温度(23℃)、液晶モニターオン、フラッシュ非点灯、12 秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影

- ※3 連続再生時間
 温度(23℃)、約10秒に1枚ページ送り
 ※4 ズームを行わず連続撮影した時の目安
- 上記数値は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。
- フラッシュ、ズーム、オートフォーカスの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

■電池を長持ちさせるために

- フラッシュを使用しないで撮影するときは、フラッシュの発光 方法を③(発光禁止)に設定してご使用いただくと、電池寿命 が長くなります(53ページ)。
- オートパワーオフ機能やスリープ機能(40ページ)を使用する ことにより、電源の切り忘れなどのむだな電力消費をおさえる ことができます。
- 動画撮影時に、フォーカスモードをマニュアルフォーカス(66 ページ)かパンフォーカス(65ページ)にすると、電池寿命が長くなります。

■バッテリー残量表示

電池が消耗すると【液晶モニター】に表示されているバッテリー残 量表示が下記表のように変化します。 ☎ の状態は電池残量が少 ないことを表しています。 ☎ の状態では撮影できません。速 やかに電池を充電し直してください。

| 電池残量 | 多 🔶 少 |
|--------|---------------------------------------------------|
| 画面情報表示 | $\square \rightarrow \square \rightarrow \square$ |
| 残量表示の色 | みず色 → オレンジ色 → 赤色 → 赤色 |

充電式電池を交換する

- 1. 【電池カバー】を開きます。
- 2. 【ストッパー】を矢印の方向にずらすと、電池が少し出てきます。



- 3. 出てきた電池を引き抜きます。
 - 電池を落とさないようにご注意ください。
- 4. 新しい電池を入れます(33ページ)。

電源に関する使用上のご注意

■電池使用時のご注意

使用上のご注意

- ・充電は5℃~35℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、充分な充電ができないことがあります。
- 充電直後でも電池の使用時間が大幅に短くなった場合は、電 池の寿命と思われますので、新しいものをお買い求めください。

保存上のご注意

- リチウムイオン充電池は小型で高容量の電池ですが、充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
 - しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
 - 使用しないときは必ず充電池をデジタルカメラから取りは ずしてください。取り付けたままにしておくと、電源が切れ ていても微少電流が流れていますので、電池が消耗し、充電 に時間がかかったり、こわれたりします。
 - 乾燥した涼しい場所(20 ℃以下)で保存してください。

充電式電池の取扱いについて

リサイクルのお願い



不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃 棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ち ください。

Li-ion

<最寄りのリサイクル協力店 へ>

詳細は、社団法人 電池工業会小形二次電池再資源化推 進センターのホームページをご参照ください。

- ホームページ http://www.JBRC.com/
- 使用済み充電式電池の取扱い注意事項
 プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
 - 被覆をはがさないでください。
 - 分解しないでください。

■海外でのご使用について

- 充電器はAC100V~240V・50/60Hzの電源に対応していますので、海外への旅行の際にもご利用できます。
 ただし、使用する国によってはプラグ形状が合わないなどの問題があるため、旅行代理店などで、現地で使用可能かどうかを事前にご確認ください。
- 電圧変換機はご使用にならないでください。

■充電器使用時のご注意

- 充電中、充電器は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、充電器をコンセントから必ずはずしてください。
- •この充電器は、垂直または床面(水平)状態で使用してください。

家庭用電源を使う

家庭用電源で本機を使うときには、別売のACアダプター(AD-C40)が必要です。

- 1. 【電源コード】をACアダプターに接続します。
- **2.** カメラの【端子カバー】を開き、【DC IN 4.5V】にACア ダプターのプラグを接続します。
- 3.【電源プラグ】をコンセントに接続します。



■ 海外でのご使用について

ACアダプターはAC100V~240V・50/60Hzの電源に対応していますので、海外への旅行の際にもご利用できます。ただし、電源コードは125Vまでの対応ですので、旅行代理店などで、現地で使用可能かどうかを事前にご確認いただき、使用する国や地域に合ったプラグ形状の市販電源コードをお買い求めください。

■ ACアダプター使用時のご注意

- ACアダプターを抜き差しする際は、必ず本機の電源を切った 状態で行ってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはお止めください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行うと製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となります。
- ACアダプターは長時間使用すると若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターのプラグを差し込むと、電池よりもACアダプ ターが優先されます。
- パソコンと接続する際は、ACアダプターのご使用をおすすめ いたします。
- ACアダプターの上に毛布などがかぶらないようにしてください。火災の原因となります。

電源を入れる/切る

電源の入/切は【電源ボタン】や【液晶モニター】の開閉で行いま す。

【電源ボタン】を押すと電源が入り、【動作確認用ランプ】が緑色に 一時点灯し、電源が入ります。再度【電源ボタン】を押すと、電源 が切れます。【液晶モニター】の開け閉めによっても電源の入/切 ができます。

【動作確認用ランプ】 【電源ボタン】



【液晶モニター】

重要! • オートパワーオフ機能により電源が切れた場合は、【電 源ボタン】を押して、再度電源を入れてください。

電池の消耗を抑えるための機能

電池の消耗を抑えるために、以下の2通りの設定ができます。

- スリープ : RECモード時に一定時間操作をしないと、 【液晶モニター】のみ消灯します。ボタン操 作をすると【液晶モニター】が再度点灯しま す。
- オートパワーオフ:一定時間操作しないと電源が切れます。
- 1. 電源を入れます。
- **2.** 【MENU】を押します。
- 3. 【◀】【▶】で"設定"タブを選びます。
- 4. 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押します。
 スリープの設定: "スリープ"
 オートパワーオフの設定: "オートパワーオフ"
 - メニューのたどりかたについては41ページを参照してく ださい。

- 5. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。 スリープの設定内容: "30秒" "1分" "2分" "切" オートパワーオフの設定内容: "2分" "5分"
 - PLAYモードではスリープは働きません。
 - スリープ中にいずれかのボタンを押すと、スリープを解除してすぐに撮影できる状態になります。
 - 以下の状態では、オートパワーオフ、スリープは働きません。
 - 本機のUSB/AV接続端子を通じてパソコンなどと接続しているとき
 - スライドショー中
 - 動画撮影中
 - 動画再生中
 - -ショートムービー(待機中)
 - -パストムービー(待機中)

メニュー画面の操作について

本機ではメニュー画面を使用してさまざまな操作を行います。この操作をまず覚えてください。【MENU】を押すと、メニュー画面が表示されます。メニューの内容はREC(撮影)モードとPLAY (再生)モードでは異なります。ここでは例としてRECモードでの操作を説明します。

- 1. 電源を入れ、【モードダイヤ ル】を"●"に合わせます。
 - PLAYモードにして操作 を行うときは "▶" に合わ せます。



2. 【MENU】を押します。





●メニュー画面で使うキーについて

| [4][▶] | タブを選びます。【▶】は項目の決定にも使い ます。 |
|--------|------------------------------|
| [▲][▼] | 設定項目を選びます。 |
| [SET] | 選択した項目に決定します。 |
| [MENU] | メニュー画面の操作を中断します。 |

3. 【◀】【▶】で設定したい項目のあるタブを選びます。

- **4.** 【▲】【▼】で設定したい項目 を選び、【▶】を押します。
 - 【▶】を押す代わりに
 【SET】を押しても、次の
 画面に移ります。

| 撮影設定 モート | メモリ 設定 |
|------------------------|----------------------|
| セルフタイマー サイズ 日 画質 | 10秒 2秒 ×3 切 |
| EV シフト ホワイトバランス | |

例)設定項目 "セルフタイ マー"を選んだ場合

- 5. 【▲】【▼】で設定内容を選びます。
- **6.** 選択した内容を決定します。
 - •【SET】を押すと内容が決定され、メニュー画面から出ま す。
 - 【◀】を押すと内容が決定され、メニュー画面に戻ります。
 続けて他の項目を設定することができます。
 - 他のタブに移りたいときは、【◀】を押して、【▲】でタブに
 戻り、【◀】【▶】で他のタブに移ってください。
- メニューの内容については「メニューー覧表」(169ページ)を参照してください。

表示言語/日時を設定する

お買い上げ後初めて撮影をする前に、下記の設定を行ってください。

- 画面のメッセージの言語設定
- 自宅の都市の設定
- •表示スタイルの設定
- •日時設定(この日時は、印刷情報などに利用されます)
- **重要!** 日時を設定しないと、間違った時間で記録されてしまいますので、必ず設定してください。
 - 下記のような電源が供給されない状態で約2日間放置した場合は、日時がリセットされてしまいます。
 - 充電式電池が消耗している/充電式電池を取り外している
 - 別売のACアダプターを電源として使用時に、ACアダプターが接続されていない
 - •日時がリセットされているときに電源を入れると、日時 設定画面が表示されます。その場合は、再度日時を設定 してください。
 - ・誤って設定してしまった場合は、表示言語/日時を設定し直すことができます(122、125ページ)。
 - 間違った時間で撮影をしてしまった画像の日時情報をカ メラで修正することはできません。
 - 日時を設定しても、画像自体に日時を入れることはできません。ただし、プリント指定時に日付を付けて印刷することはできます(138ページ)。

- 1. 【液晶モニター】を開いて電源を入れます。
 - 【電源ボタン】を押すことでも電源を入れることができます。

(▲) 【▼】 【◀】 【▶】 で言語を 選び、 【SET】を押します。

| 日本語 | : | 日本語 |
|-----------|---|---------|
| English | : | 英語 |
| Français | : | フランス語 |
| Deutsch | : | ドイツ語 |
| Español | : | スペイン語 |
| Italiano | : | イタリア語 |
| Português | : | ポルトガル語 |
| 中國語 | : | 中国語(繁体) |
| 中国语 | : | 中国語(簡体) |
| 한국어 | : | 韓国語 |
| | | |



3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自分の 住んでいる地域を選び、 【SET】を押します。



- 4. 【▲】【▼】で自分の住んでいる都市を選び、【SET】を押します。
 - 日本で使う場合は "Tokyo" を選んでください。

| 自宅の都市選択 | |
|---------|---------|
| | 自宅との時差 |
| Seoul | 0:00 |
| (Tokyo | 0:00) |
| Guam | +1:00] |
| Saipan | +1:00 |
| | |
| 現地の時刻 | 0:00 |

5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押します。

入:サマータイムになります。

- 切:通常の時刻になります。
- 日本で使う場合は"切"を選んでください。

6. 【▲】【▼】で日付のスタイル を選び、【SET】を押します。

例) 2005年12月24日 年/月/日:05/12/24 日/月/年:24/12/05 月/日/年:12/24/05



7. 日付と時刻を合わせます。 【▲】【▼】を押す:

> カーソル(選択枠)の部分 の数字を変えます。

【◀】【▶】を押す:

カーソル(選択枠)を移動 します。

(DISP) :

12時間表示と24時間表示 の切り替えができます。

8. 【SET】を押して、設定を終了します。



撮影する(基本編)

ここでは最も基本的な撮影方法について説明します。

基本的な撮影のしかた

撮影モードを設定する

本機には9つの撮影モードがあります。撮影する前に【モードダイ ヤル】を回して、撮影したい被写体に合った撮影モードに設定し てください。

| | | 静止画モード |
|-----------|----|--------------------|
| | BS | ベストショットモード |
| | Α | 絞り優先AEモード |
| | S | シャッター速度優先AE モード |
| | М | マニュアル露出モード |
| | to | パストムービーモード |
| 【モードダイヤル】 | þ | ショートムービー モード |
| | BS | ムービーベスト ショットモード |
| | Þ | ムービーモード |
| | | 再生モード |

- ●(静止画モード)
 静止画を撮影するときに設定します。通常はこのモードに設定してお使いください。
- ES (ベストショットモード) 簡単に綺麗な写真を撮影したいときに設定します。22種類の シーンの中から撮影したいシーンを選び、煩わしい設定をカメ ラにまかせることができます(77ページ)。
- ▲(絞り優先AEモード)
 任意の絞りに固定して撮影することができます(72ページ)。
- S(シャッター速度優先AEモード)
 任意のシャッター速度に固定して撮影することができます(73ページ)。
- ●M(マニュアル露出モード)
 絞り値、シャッター速度を自由に設定して撮影することができます(75ページ)。
- ・

 ・

- ● (ムービーモード)
 標準的な動画を撮影するときに設定します (82ページ)。

カメラの正しい構えかた

カメラは両手でしっかりと持って、撮影してください。片手で持 つと、手ぶれを起こす恐れがあります。

●横に持つ場合

• 縦に持つ場合





両手でカメラをしっかり持ち、 脇をしっかり締めてください。



重要! • 指やストラップが、右 記の部分にかからない ように注意してくださ い。





•【シャッター】を押し切った瞬間にカメラがぶれたり、 オートフォーカス動作中(シャッター半押し時)にカメラ がぶれると、きれいな画像が撮れません。正しく構え て、【シャッター】を静かに押し、【シャッター】を押し 切った瞬間にカメラが動かないようにしてください。特 に暗い場所で撮影するときは、シャッター速度が遅くな るので、注意してください。

撮影する

本機では被写体の明るさに応じてカメラがシャッター速度を自動 的に調整します。撮影された画像は、順次内蔵フラッシュメモ リーに保存されます。

●市販のメモリーカード(SDメモリーカードまたはMMC(マルチ) メディアカード〉)に保存することもできます(127ページ)。

市販のメモリーカードを使用する場合は、あらかじめメモ リーカードを入れて、メモリーカードのフォーマットを 行ってください(129ページ)。

1. レンズキャップをはずします。



- 2. 【液晶モニター】を 開くか、【電源ボタ ン】を押して電源を 入れます。
 - 【液晶モニター】に 画像が表示されま す。



- 3.【モードダイヤル】を"□"
 (静止画モード)に合わせます。
 - RECモードになり、撮影 できる状態になります。



- 4. 【液晶モニター】に表示され ている【フォーカスフレー ム】を被写体に合わせま す。
 - 撮影できる距離は、フォー カスモードによって異なり ます(62ページ)。



- **5.**【シャッター】を半押しし、ピントを合わせます。
 - 【シャッター】を半押しすると、 オートフォーカス機能により自動 的にピントが合い、シャッター速 度と絞り値が表示されます。



 ピントは【フォーカスフレーム】や【動作確認用ランプ】の点 灯のしかたで知ることができます。



| 状況 | 動作確認用ランプ | フォーカスフレーム |
|----------|----------|-----------|
| ピント合わせ完了 | 緑点灯 | 緑点灯 |
| ピント合わせ不可 | 緑点滅 | 赤点灯 |

•【液晶モニター】には様々な情報が表示されます。



- ※1 レンズを通してCCDに当たる光の量を制限する機構(絞り) の開口部の大きさの値です。数値が大きくなるほど、光が 通る開口部の大きさが狭くなります。
- ※2 レンズを通してCCDに当たる光の量を制限する機構(シャッ ター)の動作速度のことです。時間が長くなるほど光の量は 増えます。
- 6. ピントが合っていることを確認して【シャッター】を全押しします。
 - サイズ、画質によって撮影できる枚数が異なります(60、61、181ページ)。



■ 撮影時のご注意

- •【動作確認用ランプ】が緑色に点滅している間に【電池カバー】を 開けたり、ACアダプターのプラグを抜くことは、絶対にお止 めください。今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮 影済みの内容が破壊されたり、カメラが正常に動作しなくなる 恐れがあります。
- メモリーカードに記録中は、メモリーカードを抜かないでください。
- ・蛍光灯照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光灯のフリッカー (人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してし まい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさ や色合いが変わる場合があります。
- ISO感度が"オート"の場合(92ページ)は、被写体の明るさに応じて感度が自動的に変化します。被写体が暗いと画像にノイズがのる場合があります。
- ISO感度が"オート"の場合(92ページ)は、被写体が暗いときに 感度を上げてシャッタースピードを速くするようにしています が、フラッシュの発光方法(53ページ)が ③ (発光禁止)のとき には手ぶれに注意してください。
- •不要な光がレンズに当たる場合は、手で遮光してから撮影して ください。

■ オートフォーカスのご注意

- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことや正確で ないことがあります。
 - 階調のない壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - -明るく光っている被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 手ぶれをしているとき
 - 動きの速い被写体
 - 撮影範囲外の被写体
- •【動作確認用ランプ】が緑色に点灯していたり、【フォーカスフ レーム】が緑で表示されていてもピントが正しく合わない場合が あります。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロック(67ページ)やマニュアルフォーカス(66ページ)をご利用ください。

■ 撮影時の画面のご注意

- 撮影時、【液晶モニター】に表示される被写体の画像は、フレーム確認のための簡易画像です。撮影した内容は、選択した画質で記録されており、出力画素数は確保されています。メモリーには精細な画像で記録されています。
- 被写体の明るさにより、撮影時の【液晶モニター】の表示速度が 遅くなったり、ノイズが出る場合があります。
- 極端に明るい被写体を撮影すると、【液晶モニター】上の画像に、縦に尾を引いたような光の帯が表示される場合があります(スミア現象といいます)。これはCCD特有の現象で、故障ではありません。なお、この帯は静止画には記録されませんが、動画(80ページ)にはそのまま記録されますので、ご注意ください。

ズームを使って撮影する

本機のズームには、光学ズームとデジタルズームの2種類があります。

光学ズーム

レンズの焦点距離を変えて撮影することができます。ズームの倍 率は次の通りです。

- 倍率:1~5倍
- ※フォーカスモードがマクロ(65ページ)の場合は1~2.25倍になります。
- **1.** RECモードにします。
- **2.** 【ズームレバー】をスライドさ せて、ズームの倍率を変えま す。
 - ……(広角):広角になります。「▲」(望遠):望遠になります。
 - 【ズームレバー】をいっぱいまでスライドさせると、より高速にズーム倍率を変えることができます。





広角

望遠

3.【シャッター】を押して撮影します。

- ・光学ズームの倍率により、レンズの絞りの値も変わります。
 - 望遠で撮影するときは、手ぶれ防止のため、三脚の使用 をおすすめします。
 - 光学ズームを行うと、画面上に撮影可能な距離の範囲が 表示されます(63、65、67ページ)。

デジタルズーム

光学ズームが最も望遠になった(5倍)状態から、さらに画面の中 央を拡大して撮影することができます。デジタルズームを使った ときのズームの倍率は次の通りです。

倍率:5~40倍(光学ズーム併用)

重要! ● デジタルズームを使ってズーム撮影すると、画面の中央 をデジタル処理で拡大するため、光学ズームと異なり画 像は粗くなります。

■デジタルズームを使って撮影する

- RECモードにし、【ズームレ バー】を [♣] (望遠)/○側に スライドさせて、ズームの倍 率を変えます。
 - 【ズームレバー】をスライ ドさせると、【液晶モニ ター】にズームバーが表示 されます。この表示で現 在のおおよその倍率が分 かります。



デジタルズーム表示

2.【ズームレバー】をスライドさせて、光学ズームが最も望遠になると(ズームポインターが光学/デジタルズーム切替えポイントにくると)、いったんズーム動作を停止します。



- ズームバーのデジタルズームレンジは、デジタルズームが "入"に設定されているときにのみ表示されます(53ページ)。
- 続けて【ズームレバー】を [♣] (望遠)/Q側にスライドさせると、ズームポインターがデジタルズームレンジに入り、デジタルズームに切り替わります。
 - 【ズームレバー】を ▲ (広角) / 側にスライドさせる と、ズームポインターが光学 / デジタルズーム切替えポイ ントでいったん停止した後、光学ズームレンジに戻り、光 学ズームに切り替わります。
- 4. 【シャッター】を押して撮影します。

■デジタルズーム機能のオン/オフを切り替える

- 1. RECモードにして【MENU】を押します。
- 2. 【◀】【▶】で"撮影設定" タブを選びます。
- 3. 【▲】【▼】で"デジタルズーム"を選び、【▶】を押します。
- 4. 【▲】【▼】で設定項目を選び、【SET】を押します。
 - 入:デジタルズーム機能が働きます。
 - 切:デジタルズーム機能は働きません。
 - "切"を選ぶと、ズームバーには光学ズームレンジのみが表示されます。

フラッシュを使って撮影する

撮影条件に合わせてフラッシュの発光方法を切り替えることができます。

フラッシュの撮影範囲は下記の通りです。
 約0.4m~約3.0m(ISO感度オート時)
 ※ 光学ズームにより、撮影範囲は変化します。

1. RECモードにします。

2. 【\$】を押して、フラッシュの 発光方法を選びます。

 【\$】を押すたびに【液晶モニ ター】に次の順でフラッシュ の発光方法が表示され、切 り替わります。





表示なし(自動発光):露出(光の量や明るさ)に合わせて自動的に発光します。

- アイコンガイド(97ページ)を使用している場合は、 "A フラッシュオート"を選んでください。
- ③ (発光禁止):露出に関係なく発光しません。
- (強制発光):露出に関係なく強制的に発光します。

(赤目軽減):フラッシュ撮影時に人の目が赤く写ることを軽減します。露出に合わせて自動的に発光します。

3. 【シャッター】を押して撮影します。 【フラッシュ】

 【フラッシュ】は撮影時に 【シャッター】を半押し、ま たは全押しすると、必要に 応じて発光部が開きます (オート・ポップアップフ ラッシュ)。



 【フラッシュ】は自動的に閉 じませんので、必要のない ときは【フラッシュ】の上部 を押して閉じてください。



- 重要! ・フラッシュ撮影時、フラッシュは数回発光します。最初に プリ発光(露出情報を得るための予備発光)し、最後にメイ ン発光(フラッシュ撮影するための発光)することにより、 最適な発光量でフラッシュ撮影が行われます。メイン発光 が終わるまで、カメラは動かさないでください。
 - ISO感度が"オート"の場合は、感度が高くなるため、フラッシュ使用時にノイズが多くなります。ISO感度を下げると撮影範囲(フラッシュの光が届く範囲)が短くなりますが、ノイズは少なくなります(92ページ)。

■強制発光について

日中の撮影で、逆光などで被写体が暗くなるような場合は、フ ラッシュの発光方法を (強制発光)を選んで、フラッシュを発 光させて撮影してください(日中シンクロ撮影)。フラッシュの光 により、被写体を明るく撮影することができます。

■ 赤目軽減機能について

夜や暗い室内などで人物をフラッシュ撮影したとき、目が赤く写る ことがあります。これは、フラッシュ光が目の網膜に反射するため に起こる現象です。赤目軽減機能を使うと、フラッシュ撮影する前 に赤目用プリ発光(写す人の瞳孔を小さくするためにフラッシュが 発光)することにより、人の目が赤く写ることを軽減します。

- **重要!** 赤目軽減機能により撮影する場合は、下記の点に注意してください。
 - 写される人がフラッシュを注視していないと効果が ありません。撮影する前にフラッシュを見るように 声をかけておいてください。
 - 被写体までの距離が遠いと、効果が現れにくい場合 があります。

フラッシュの状態について

フラッシュの状態については【シャッター】を半押ししたときに、 【液晶モニター】や【動作確認用ランプ】で確認できます。



フラッシュの光量を変える

フラッシュの光量を変えることができます。

- 1. RECモードにして【MENU】を押します。
- 2. 【◀】【▶】で"撮影設定"タブを選びます。
- 3. 【▲】【▼】で"フラッシュ光量"を選び、【▶】を押します。
- 4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
 - +2: 強く光る +1 ↑
 - 0 - 1
 - -2:弱く光る
- **重要!** 被写体が遠かったり、近すぎたりする場合は、光量が変わらない場合があります。

フラッシュ撮影時の光量の不足を補う (フラッシュアシスト機能)

フラッシュの撮影範囲よりも遠い被写体を撮影したとき、撮影に 必要なフラッシュ光量が得られずに、被写体が暗く写ってしまう 場合があります。そのような場合、この機能を使うと、撮影した 被写体の明るさを補正し、フラッシュの光がより遠くへ届いたと きと似たような効果を得ることができます。





フラッシュアシスト機能未使用

フラッシュアシスト機能使用

- 1. RECモードにして【MENU】を押します。
- 2. 【◀】【▶】で"撮影設定" タブを選びます。
- **3.** [▲] 【▼] で"フラッシュアシスト"を選び、【▶]を押します。

4. 【▲】【▼】で"オート"を選び、【SET】を押します。

- "切"を選ぶと、フラッシュアシスト機能は働きません。
- **重要!** 被写体によっては、思ったような効果が得られないこと があります。
 - 下記のような操作を行ったとき、フラッシュアシスト機 能を使用した撮影結果にほとんど変化が表れない場合が あります。
 - -フラッシュ光量を切り替えたとき(56ページ)
 - 露出補正(EVシフト)を行ったとき(68ページ)
 - -ISO感度を切り替えたとき(92ページ)
 - -コントラストの設定を切り替えたとき(95ページ)
 - フラッシュアシスト機能動作時、ノイズが増える場合が あります。

■ フラッシュ使用時のご注意

- 【フラッシュ】が指で隠れないよ うにしてください。隠れてしま うとフラッシュ本来の効果が得 られなくなります。
- 撮影するとき、フラッシュ発光 部に指などがかからないように してください。フラッシュ発光 部が開かないと、【フラッシュ】 が発光しません。



- ・被写体までの距離が遠かった り、近かったりする場合は適切 な効果が得られません。
- フラッシュの充電時間は、そのときの使用条件(電池の状態や温 度等)により異なります。 数秒~12秒程度(フル充電の場合)
- ●下記の撮影では、フラッシュは発光しません。このとき ③ (発光禁止)が表示されます。

ムービーモード、パストムービーモード、ショートムービー モード、ムービーベストショットモード

 ・
 電池が消耗するとフラッシュの充電ができなくなることがあ
 り、フラッシュが正常に発光せずに適正な露出が得られないこ とがあります。速やかに電池を充電してください。

- 暗い場所で撮影するときにフラッシュを (発光禁止)に設定 すると、シャッター速度が遅くなるので、手ぶれを防ぐため に、カメラを三脚などで固定するようにしてください。なお、 このとき撮影した画像は多少ざらついた感じ(ノイズが発生した 画像)になる場合があります。
- (赤目軽減)では露出に合わせて自動的に発光するため、明 るい場所ではフラッシュは発光しません。
- フラッシュを使用した場合は、外光や蛍光灯など他の光源があると色味が変わることがあります。

セルフタイマーを使って撮影する

【シャッター】を押してから約10秒または約2秒後に撮影することができます。また、3枚連続でセルフタイマー撮影する(トリプルセルフタイマー)こともできます。

- 1. RECモードにして【MENU】を押します。
- 2. 【◀】【▶】で"撮影設定" タブを選びます。
- 3. 【▲】【▼】で"セルフタイマー"を選び、【▶】を押します。
- **4.** 【▲】【▼】でセルフタイマーの種類を選び、【SET】を押します。
 - 🔉 10秒: 10秒後に撮影されます。
 - 2秒 : 2秒後に撮影されます。
 - ※ ×3 : 10秒後に1枚、その後撮影準備完了の1秒後に 1枚、さらに撮影準備完了の1秒後に1枚と、合 計3枚撮影されます(トリプルセルフタイ マー)。
 - 切 : セルフタイマーは使用できません。

 【液晶モニター】にセルフ タイマーの種類が表示されます。



- **5.** 【シャッター】を押して撮影します。
 - 【セルフタイマーランプ】 が点滅し、約10秒、また は2秒後に撮影されます。
 - カウントダウン中に 【シャッター】を半押しす ると、セルフタイマーを 解除することができま す。【シャッター】を全押 しすると、最初から再度 カウントダウンを始めま す。



- 参考 ・シャッター速度が遅いときにセルフタイマーの2秒の設定を使用すると手ぶれ防止になります。
 - トリプルセルフタイマーでは、次の撮影準備が終わると "1sec"と表示され、約1秒後に撮影されます。撮影準 備完了までの時間は、画像の"サイズ"や"画質"とメモ リーカードの有無またはフラッシュの充電の有無によっ て異なります。
 - 下記の撮影では、セルフタイマーは使用できません。パ ストムービーモード、ショートムービーモード
 - 下記の撮影では、トリプルセルフタイマーは使用できません。

ムービーモード、パストムービーモード、ショートムー ビーモード、ムービーベストショットモード

画像サイズを変更する

画像サイズとは、カメラが記録する撮影画像の大きさを画素数 (pixels)で表したものです。この画素数は1枚の画像を構成する 粒子のきめ細かさを示している数値で、数字が大きいほど、印刷 したときにきめが細かく美しい仕上がりになります。 この設定は静止画の撮影時のみ有効です。動画のサイズについて は、81ページをご覧ください。

- 1. RECモードにして【MENU】を押します。
- 2. 【◀】【▶】で"撮影設定" タブを選びます。
- 3. 【▲】【▼】で"サイズ"を選び、【▶】を押します。
- 4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
 - 画像サイズを選択している際に、画素数とプリントサイズ が交互に表示されます。プリントサイズは、選んだ画素数 に対して、プリント時に最適な用紙のサイズを示していま す。

| 画素 | 标数(pixels) | プリントサイズ |
|-----|--------------------|-------------------------------------|
| 大きい | 2560×1920 | A3プリント |
| | 2560×1712 (3:2) | A3プリント ※横縦比が3:2になります。 |
| | 2048×1536 | A4プリント |
| | 1600×1200 | L判プリント ※1280 × 960より精細に なります。 |
| | 1280×960 | L判プリント |
| 小さい | 640× 480 | Eメール ※Eメールで画像を送りたい 場合に最適です。 |

- •「プリントサイズ」は、あくまでも参考のサイズとお考えください(印刷解像度が200dpiの場合)。
- "2560×1712(3:2)"を選ぶと、プリント紙の横縦比3:2 に合うように、画像を3:2の比率で撮影します。

画質を変更する

画質とは、画像を記録する際のデータ圧縮率を表したものです。 用途に合わせて画質を変更してください。 この設定は静止画の撮影時のみ有効です。動画の画質について は、81ページをご覧ください。

- 1. RECモードにして【MENU】を押します。
- 2. 【◀】【▶】で"撮影設定" タブを選びます。
- 3. 【▲】【▼】で"□ 画質"を選び、【▶】を押します。
- 4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

| 設定内容 | | 選択時の目安 |
|------|-------|--------------|
| 高画質 | 高精細 | 画質を優先したいとき |
| ↓ | 標準 | 通常の撮影をするとき |
| 低画質 | エコノミー | 撮影枚数を優先したいとき |



重要! • 撮影した画像によってファイルサイズが異なるため、実 際の撮影可能枚数と画面上の表示枚数が一致しない場合 があります(25、181ページ)。